



この春、卒業したいことは？



3月といえば「卒業」の季節です。人生の一つの区切りとして達成感や解放感がある一方で、友や同僚と別れなければならない寂しさや将来に対する漠然とした不安など、さまざまな思いに心が揺れる時期かもしれません。

そんな卒業という言葉には、「学校の全課程を学び終えること」という学業の修了を意味するだけでなく、「ある段階や時期を通り過ぎること」という意味もあるそうです。最近でいえば、アイドルグループAKB48からの卒業や紅白歌合戦からの卒業など、さまざまな場面で使われることが増えてきているように思います。卒業シーズンのこの時期に、「〇〇から卒業」と自分で決め込んで、これまでの生活習慣や長年の癖などを見直してみるのもよいかもしれません。2015年が始まってから2ヵ月が経ったものの、元旦に立てた計画をまだ実行しきれていないという方は、仕切りなおしてみてもいいでしょうか。

「何かをはじめたい!」と思ったとき、図書館にはそんな思いを後押しする本がたくさん揃っています。新たな気持ちでよいスタートを切れるように、ぜひ図書館にお越しください。

モノからの卒業!



『片づけられない女のための こんどこそ! 片づける技術』

池田 暁子/著
文藝春秋
K 597.9 イ

捨てられない、物が見つからない、床が見えない…。恋人どころか親兄弟すら呼べないゴミ箱部屋に住む、片づけられない著者が掃除に開眼! 今度こそ部屋は片づくのか!?

コミックで描く「汚部屋」脱出物語。

暴飲・暴食からの卒業!



『なぜあなたは 食べ過ぎてしまうのか』

岡崎 順子/著
講談社
2階一般 493.7 オ

食べ過ぎてしまう原因に気づき、解決方法を見つけ、行動を少しだけ変える…。

食べ過ぎを確実にやめられるステップを示し、食べる喜びを味わいながら、太らない身体と習慣を作るための方法を紹介!

〈図書館カレンダー〉

※ 毎週火曜日は休館日です。

※ 開館時間 10:00~20:00



3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

図書館 de ギャラリー “「平面刺繍」と「3D刺繍」の作品展”

2月5日(木)から9日(月)の5日間、図書館 de ギャラリーを開催しました。図書館 de ギャラリーは毎年行なっているイベントで、長崎市内で活動されているサークルの方々の作品を図書館で発表してもらうことを目的としています。今年度はアトリエ MARI 様に “「平面刺繍」と「3D刺繍」の作品展”と題し、一般的な平面刺繍と、花びらや丸いふくらみを立体的に表現する 3D 刺繍を展示してもらいました。人の手で作られたとは思えないほど精巧な作品や、7年もの歳月を費やして完成したという作品もあり、見る人を飽きさせることのない美しい刺繍作品ばかりでした。また作品展示だけでなく、刺繍体験ワークショップもあり、初めての方にも楽しんでもらえたようです。たくさんのご来場ありがとうございました。



「市民のためのリレー講座 図書館でがんを学ぼう」

長崎市立図書館ではがん情報サービスの一環として、長崎みなとメディカルセンター 市民病院にご協力いただき、「市民のためのリレー講座 図書館でがんを学ぼう」と題した連続講座を開催しています。2月に行なった講演会をもって、今年度の全プログラムが終了しました。

毎回多くの方にご参加いただき、アンケートにもたくさんのご意見・ご感想をいただいております。講演中はもちろん、質疑応答や健康相談会でも皆様の熱心な気持ちが伝わってくるようでした。皆様の知ろうとする姿勢や意欲をひしひしと感じ、図書館にとっても有意義な講座となりました。

今後も市民の皆様の役に立つ図書館となるよう、医療や健康だけでなく、様々な分野における情報提供サービスをさらに充実させてまいります。また、これからも健康に関する講演会などを開催する予定ですので、ぜひご参加ください。



ブック・バトン

毎月2名の図書館員がおすすめの本を紹介します

今月のテーマは

思い出

思い出いろいろ

3月は、卒業や転居など別れの季節です。学生時代を思い出すのは楽しかったことも辛かったことも友と過ごした時間です。

『夜のピクニック』は高校生たちが夜を徹して歩く「歩行祭」という学校行事が題材です。ただただ一晩中歩きゴールを目指す、それ以外は何もない2日間なのに、友と夢や思い出を語り過ごすごとでそれぞれの繊細な心が微妙に変化していく爽やかな青春小説です。学生時代ってこんな感じだったかなと、進路や人間関係で思い悩む登場人物に自分の若かりし頃を重ね、青春時代を懐かしく思い出します。

そして、思い出には写真がつきものです。知らないあいだにヘンなものが写ってしまった、なぜ撮ったのかまったく意図がわからない・・・、そんなクスッと笑える一コマ写真を集めた『味写道』。澄ました「いい顔」の写真でなく失敗作にも愛おしい思い出がたくさん詰まっているものです。

(スタッフ 浦川 康子)



『夜のピクニック』

恩田 陸/著

新潮社

B913.6 オン



『味写道』

天久 聖一/編著

アспект

748 ア

思い出に彩りを

子どもの頃書いた絵、家族写真、旅行先のチケット・・・、せっかくの思い出を引き出しの奥にしまいこんでいませんか。

『スクラップブックアイデア帖 思い出を、残す、飾る、楽しむ』では、写真と思い出の品を一緒にフレームに飾ったり、絵本にしたりと、ちょっとした工夫で思い出をいつでも楽しめるようなアイデアをたくさん紹介しています。見返すことも多くなりそうですね。

絵本『マッチ箱日記』に登場するおじいさんは、読み書きができなかった子どもの頃、マッチ箱にその日の思い出の品を入れて日記代わりにしていました。1つ目の箱にはオリーブの種、2つ目の箱には古い写真・・・、マッチ箱の中身を1つずつ取り出しながらひ孫の女の子に語るたびに、子どもの頃の記憶が生き生きとよみがえります。

皆さんも、思い出に彩りを加えてみませんか？

(司書 元尾 未来)



『スクラップブックアイデア帖

思い出を、残す、飾る、楽しむ』

平田 美咲/編

誠文堂新光社

H744.9 ス



『マッチ箱日記』

ポール・フライシュマン/文

バグラム・イバトゥーリン/絵

島 式子/訳 島 玲子/訳

BL 出版

外国絵本 E イ

寄贈紹介「瓊浦高校レオクラブ・長崎レオクラブ児童文庫」



レオクラブとは、ライオンズクラブの指導のもと様々な奉仕活動を経験し、自らの指導力を養い個性豊かな人間に成長することを目的とした青少年の組織です。現在、佐賀県・長崎県を合わせ15のレオクラブがあり、長崎市には、学校を主体とした瓊浦高校レオ、高校生・大学生などが混在する長崎レオの2クラブがあります。今年度、15クラブが一同に会し1年間の活動を報告する「年次大会」の長崎市での開催を記念する奉仕事業として、子どもたちの読書活動推進に貢献したいとの趣旨で、長崎市立図書館に児童図書61冊を寄贈されました。

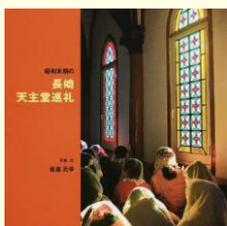
図書貸出券には有効期限があります

- 登録された日以降の誕生日から3年2ヵ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- 有効期限の6ヵ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヵ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- 更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヵ月間に行ってください。
- 更新手続きには申込書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- 旧貸出券も新しい図書貸出券への切り替えを行ってください。
- 有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。**

図書館テレビ

毎月1回月曜日、午後6時20分～午後7時

NHK 総合「そこが気になる」のコーナーで放送中！



『昭和末期の長崎天主堂巡礼』
板倉 元幸/写真・文
ART BOXインターナショナル
N 523.1 イ

昭和62年から平成元年に撮影した教会の写真を掲載し、地域ごとに教会の成り立ちやキリスト教の歴史、現地で取材した内容を紹介しています。

図書館ラジオ

毎月第2金曜日午後2時、長崎シティFM(81.3MHz)

「ウィーパラライブラリー」で放送中！



『人生に、寅さんを。』
キネマ旬報社
H 778.2 ジ

寅さんは、格好良い。ページをめくればめくるほど、彼が今も日本中で愛される理由が分かります。困っているとき、泣きたいとき・・・優しさの中にも厳しさの滲む言葉たちが、きっとあなたの背中を押してくれるはずです。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	251	6	フランス人は10着しか服を持たない	ジェニファー・Lスコット	大和書房	213
2	サラバ!(上)	西 加奈子	小学館	248	7	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	幻冬舎	181
3	満顔	米澤 穂信	新潮社	238	8	悲嘆の門(上)	宮部 みゆき	毎日新聞社	165
4	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	230	9	物語のおわり	湊 かなえ	朝日新聞出版	160
5	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	219	10	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎	157

(2015年2月16日現在)

編集・発行: 長崎市立図書館 〒850-0032 長崎市興善町1-1 (TEL) 095-829-4946 (FAX) 095-829-4948